かがやき

菊川市立小笠北小学校 学校便り

学校教育目標 「自信をもち　自分の力を発揮する子」
重点目標 「気づき　考え　挑戦する子」

令和７年９月１日

挑戦の木に素敵な花 ２学期 始業式の話

挑戦の木に花をたくさん咲かせる２学期が始まりました。

明治大学の堀田秀吾教授は、『とりあえずやってみる技術』という本の中で、「偶然のチャンスはただ待っているだけではなかなかやってこない。いつもの自分とは少し違う行動を選んだとき、注意のアンテナが広がり、意外な気づきに出会いやすくなる。」と書いています。

同じ景色を見ても、人によって受け取り方が違います。その違いが、一人一人の考えや生き方をつくっていきます。例えば、自分の机の近くに、鉛筆が落ちていたとします。自分の物ではないから拾わないでそのままにしておくか、拾って誰の物かみんなに聞くことに挑戦するか。読めない漢字があります。読めないままにするか、聞いたり調べたりして知識を増やす挑戦をするか。勝負で負けそうな時、失敗を恐れて本気を出さないか、努力することに価値をおくか。みなさんなら、どちらを選びますか。８月18日（月）の菊川市こども議会に、小笠北小学校から３人が参加しました。未来の菊川をもっとよくするために何が課題かに気づき、どうしたらいいかを考え、調べ、そして、自分の意見として発言する、まさしく「気づき、考え、挑戦する」力です。

よいと思ったことを「まずやってみる」、そして「続けてみる」ことで、成功も失敗もたくさん経験し、小笠北小学校の挑戦の木の葉をいっぱいにして、素敵な花を咲かす２学期にしましょう。

暑い日が続いています。外で遊べない昼休み対策として、読み聞かせボランティアの方が来てくださっています。６年生も北子ども園に読み聞かせに行き、読書の輪が広がっています。